

Reference D4

Japanese Utility Model Kokai No. 57-22883

Laid-opening date: 05 February 1982

Application No.: 55-100436

Filing date: 15 July 1980

Applicant: Yoshimitsu MIYATAKE (Mr),
Tadotsu-machi, Tadotsu-gun, Kagawa Pref.

Title: Connection type cassette tape case

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 實用新案出願公開

⑪ 公開実用新案公報 (U)

昭57-22883

⑫ Int. Cl.³
G 11 B 23/02

識別記号

府内整理番号
7177-5D

⑬ 公開 昭和57年(1982)2月5日

審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑭ 連結式カセットテープケース

⑮ 実 願 昭55-100436

⑯ 出 願 昭55(1980)7月15日

⑰ 考 案 者 宮武良充

香川県仲多度郡多度津町大字山
階1291番地

⑮ 出 願 人 宮武良充

香川県仲多度郡多度津町大字山
階1291番地

⑪ 実用新案登録請求の範囲

- (1) カセットテープケースに向かって右側面1の上方の外側にミゾ3をつけ、また左側面2の上方の外側にミゾ4をつける。
 (2) 右側面1の下方の内側に山5、また左側面2の下方の内側に山6をつける。
 以上の如く構成されたカセットテープのケース。

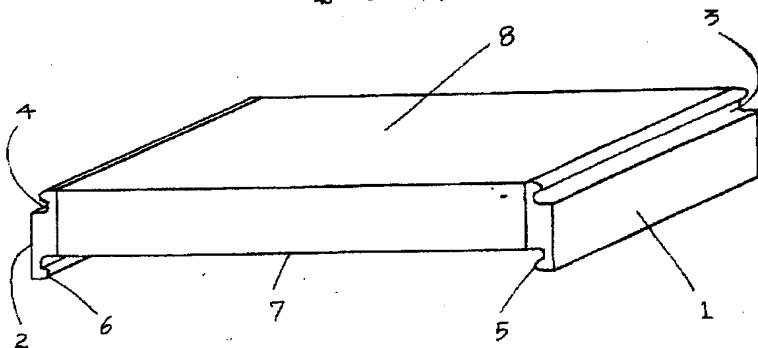
図面の簡単な説明

第1図は本考案の上方よりの斜視図。第2図は

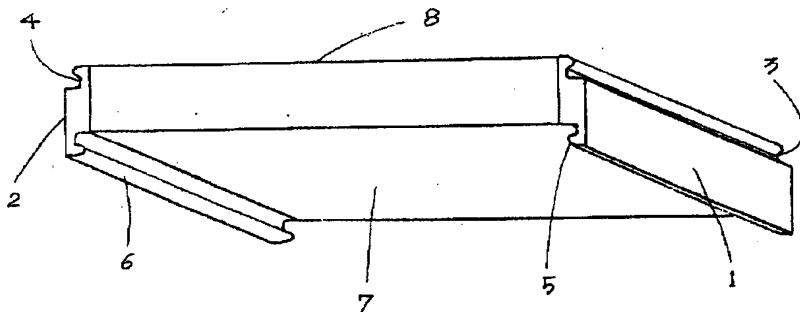
本考案の下方よりの斜視図。第3図は本考案の変形型の上方よりの斜視図。第4図は本考案の山の変形型の斜視図。第5図は本考案の使用状態を示す斜視図である。

1は右側面、2は左側面、3は右側面のミゾ、4は左側面のミゾ、5は右側面内側の山、6は左側面内側の山、7は底面、8は上面、9は右側面、10は左側面、11は右側面内側の山、12は左側面内側の山、13は右側面のミゾ、14は左側面のミゾ。

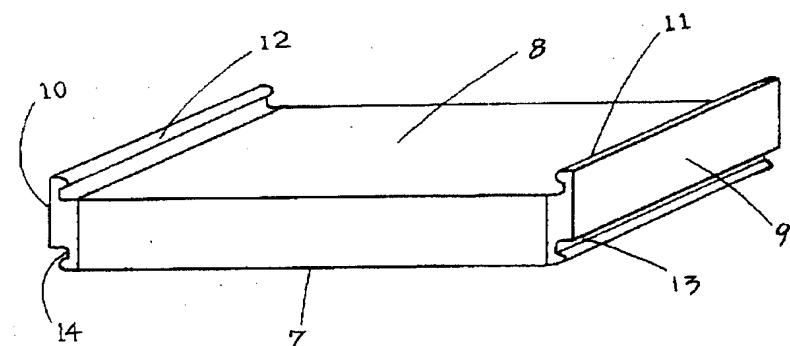
第1図



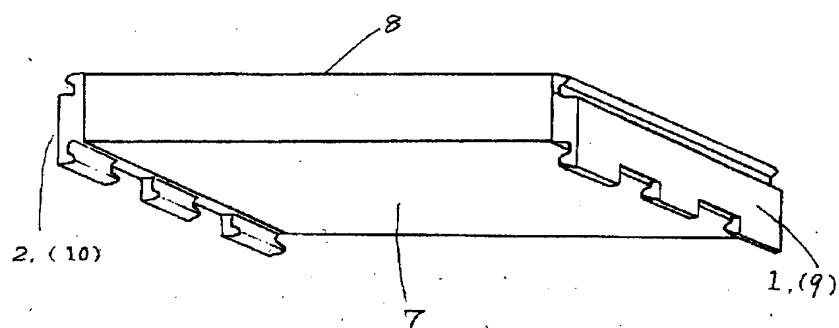
第2図



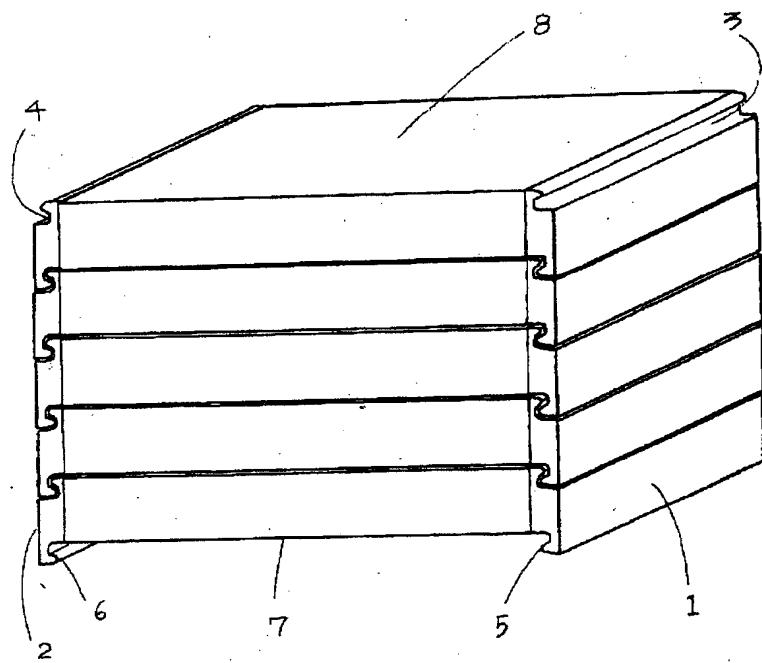
第3図



第4図



第5図



公開実用 昭和57-22883



実用新案登録類

昭和57年7月14日

14日登出

特許庁長官殿

1. 考案の名称 連結式カセットテープケース

2. 考案者 (実用新案登録出願人と同じ)

フリガナ 住所(居所) カガワケンナカタドグンタドツカ
 香川県仲多度郡多度津町
 オオアザマシナ バンチ
 大字山階1291番地

フリガナ 氏名 シヤタケヨシキツ
 宮武良充

3. 実用新案登録出願人

郵便番号 76400
 フリガナ 住所(居所) カガワケンナカタドグンタドツカ
 香川県仲多度郡多度津町
 オオアザマシナ バンチ
 大字山階1291番地

フリガナ 氏名 シヤタケヨシキツ
 宮武良充

4. 添付書類の目録

- | | |
|-----------|-----|
| ✓ (1) 明細書 | 1 通 |
| ✓ (2) 図面 | 1 通 |
| (3) 願書副本 | 1 通 |

53 10043

22883-万式登

高田

明細書

1. 考案の名称 連結式カセットテープケース
2. 実用新案登録請求の範囲
 - (1) カセットテープケースに向かって右側面1の上方の外側にミゾ3をつける。また左側面2の上方の外側にミゾ4をつける。
 - (2) 右側面1の下方の内側に山5、また左側面2の下方の内側に山6をつける。
以上の如く構成されたカセットテープのケース。
3. 考案の詳細な説明

この実用新案は、ケースの両側面上方の外側にミゾを、両側面下方の内側に山をついたカセットテープケースに関するものである。

従来のカセットテープケースは、積み重ねたり並べたりして保管していた。しかし、すぐにバラバラになり整頓に不便があった。また、専用の収納箱もあるが場所をとったり、費用がかかったりで実際の利用者数は少ないのが現実である。

本案は、その欠点を除くために考案されたもので、これらを図面について説明すれば、

実用新案登録出願人 宮武良充

2008.3

(イ) カセットテープケースに向かって右側面1の上方の外側にミゾ4をつける、また左側面2の上方の外側にミゾ4をつける。

(ロ) カセットテープケースに向かって右側面1の下方を底面7より延長し、その内側に山5をつける。また、左側面2の下方を底面7より延長し、その内側に山6をつける。

本案は、以上のような構造であるから、ふたつのケースを結合させるときは、一方のケースの上面ともう片方のケースの底面を合わせて軽く押しつけるだけで、一方のミゾともう片方の山がかみあってふたつのケースは連結する。何個もケースを積み重ねて連結してもよいし、本の収納のようにケースを垂直に立てて連結してもよい。ケースは山とミゾによってかみあい連結しているから、少しの振動ではバラバラになることなくきちんと整頓できる。よってケースの背に書いてあるタイトルも、きちんと並んでいるので思いつくものをすぐ見つけだすことができる。そしてケースを取り出すときは相方を引き離してもよいし、水平に

スライドさせててもよい。現在市販されているカセットテープケースを収納する箱は、ケースの数に関係なく場所をとり不便であるが、この考案のケースならば、箱も必要なくまた場所もケースの数だけの広さしかとらないので便利である。

なを、ケースに向かって右側面9の上方を上面8より延長し、その内側に山11を、左側面10の上方を上面8より延長しその内側に山12をつけ、ケースに向かって右側面9の下方の外側にミゾ13を、左側面10の下方の外側にミゾ14をつけてよい。

また、山5・6・11・12は前方から後方まですべてつけなくてよくろカ所ほどでもよい。
(第4図参照)

4. 図面の簡単な説明。

第1図は本考案の上方よりの斜視図。

第2図は本考案の下方よりの斜視図。

第3図は本考案の変形型の上方よりの斜視図。

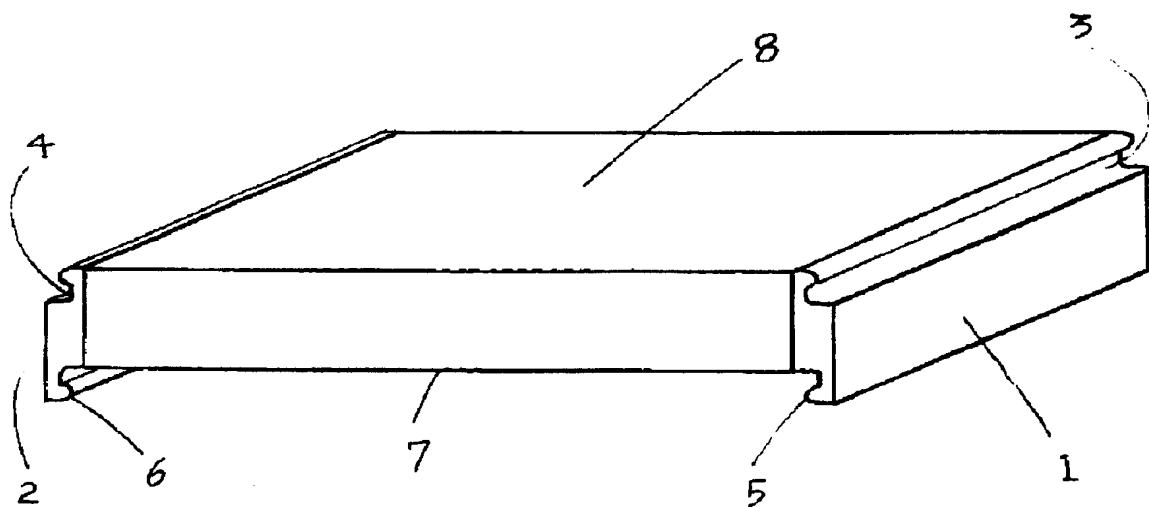
第4図は本考案の山の変形型の斜視図。

第5図は本考案の使用状態を示す斜視図である。

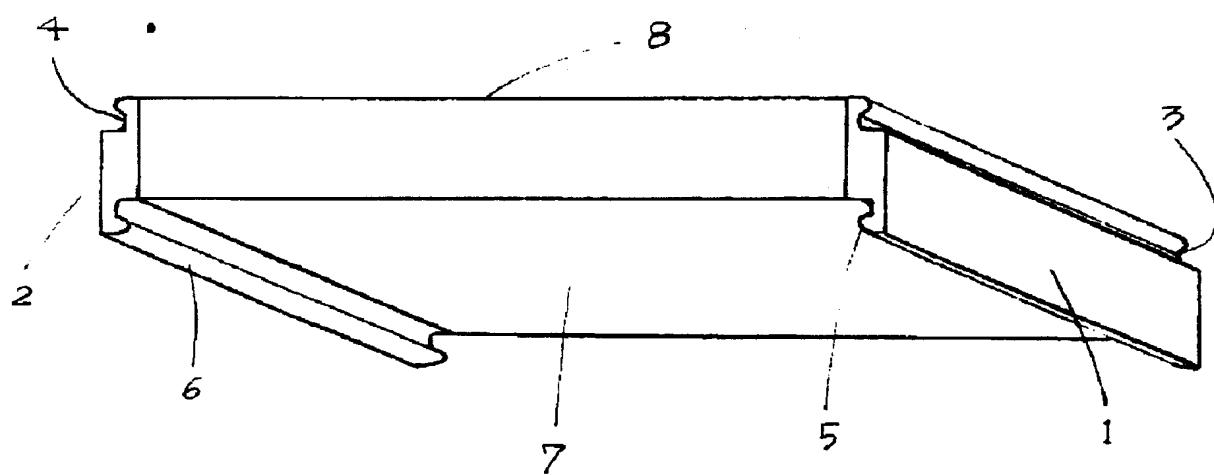
- (1) は右側面, (2) は左側面,
(3) は右側面のミヅ, (4) は左側面のミヅ,
(5) は右側面内側の山
(6) は左側面内側の山
(7) は底面 (8) は上面
(9) は右側面 (10) は左側面
(11) は右側面内側の山
(12) は左側面内側の山
(13) は右側面のミヅ
(14) は左側面のミヅ

圖 面

第 1 図



第 2 図

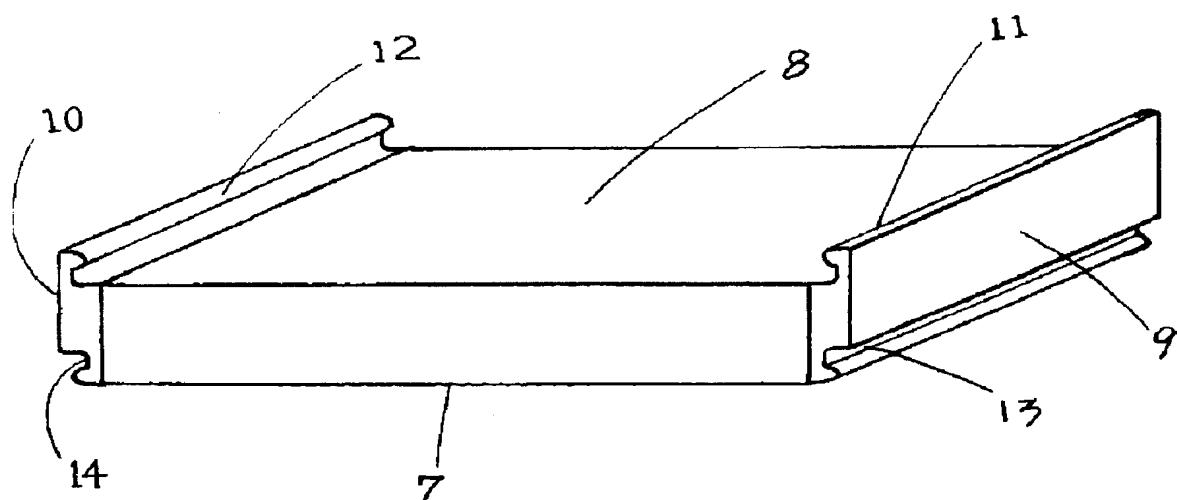


22883 //3

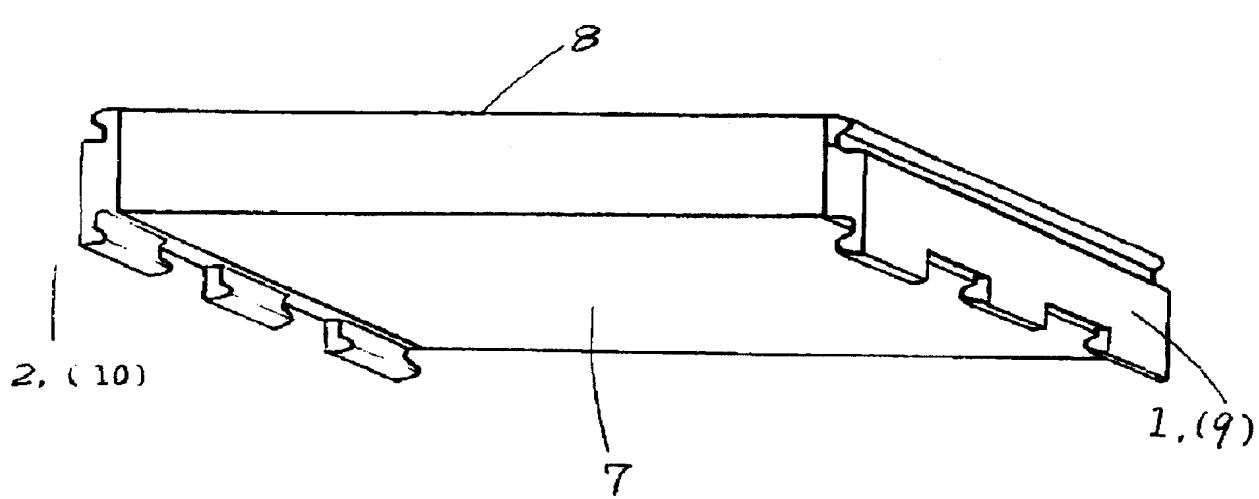
实用新案登録出願人 宮武良充

図 面

第 3 図



第 4 図

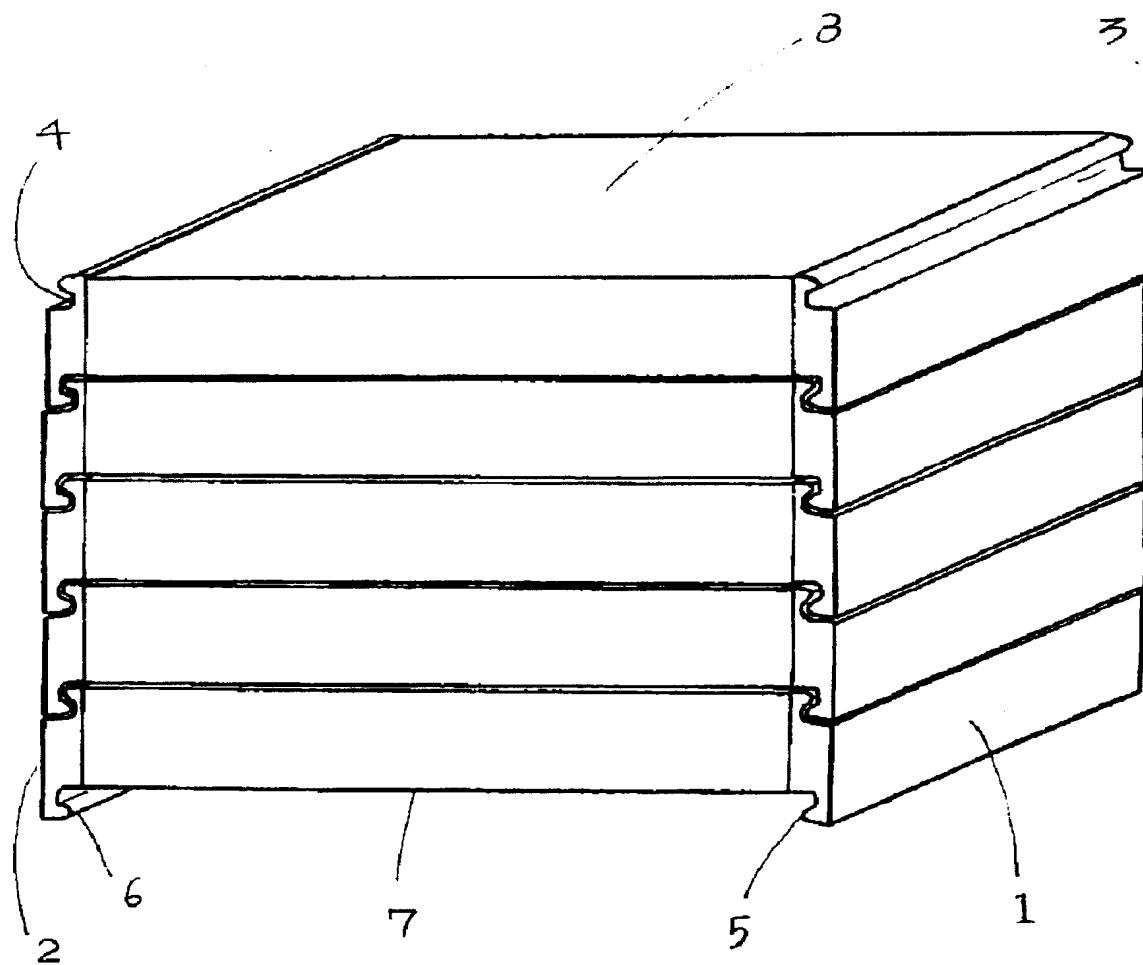


22883
2/3

実用新案登録出願人 宮式良充

図 面

第 5 図



22333

3/3

实用新案登録出願人 宮武良充